

川崎市国際交流協会・センターの事業(予定)

※開催時期や内容の変更、中止する場合があります。ご了承ください。

- 3月**
 - 春休み♪こども語学教室 26日(木)~28日(土)
ネイティブ講師によるこども英語A(小学1・2年生)、B(小学3・4年生)、こどもスペイン語(小学1~5年生)の教室。
 - スペイン語による国際理解講座 29日(日)
スペイン語でズンパを踊ろう! ネイティブ講師と一緒に体を動かしながら簡単なスペイン語も学べます。
 - 国際交流事業・多文化共生推進事業
補助金申請団体 募集 締切:31日(火)16:30
市民活動団体が実施する、川崎市の国際化に寄与する国際交流または多文化共生推進事業が対象。申請書は交流協会のホームページからダウンロードできます。
- 4月**
 - 外国人のための日本語講座(1学期)
◎午前コース(火・金) 9:50~11:50
4月14日~6月30日(全22回)
※1歳から子どもをあずけることができます。
◎夜間コース(水) 18:30~20:30
4月8日~7月8日(全12回)
※多言語で問い合わせ・申し込みができます。
- 6月**
 - 外国人のための市営住宅説明会 13日(土) **無料**
説明を受けながら、市営住宅の申込書を書きます。希望者には通訳がつきます。
 - 英語による国際理解講座(全3回)
ネイティブスピーカーから英語で文化などを学びます。(英語中上級レベル対象)
- 7月**
 - やさしい日本語研修会 4日(土) **無料**
外国人に伝わりやすい日本語のコツを楽しく学びます。
講師:吉開章(一社)やさしい日本語普及連絡会代表理事)

- 7月**
 - 夏休み♪こども語学教室(英語ほか) 下旬
ネイティブ講師との交流を通して、外国語や世界に触れる語学教室。
- 8月**
 - 生活オリエンテーション・出張相談 **無料**
生活一般についての疑問や困り事の相談を始め、就学や行政手続きなどの情報も提供する。
- 9月**
 - 外国につながる子どもの高校進学ガイダンス 21日(月・祝) **無料**
日本語を母語としない生徒への高校進学説明会。高校の相談ブースや先輩の体験談があります。
- 10月**
 - ふれあい交流会 17日(土)
外国人講師による家庭料理と文化紹介の講座
- 11月**
 - インターナショナル・フェスティバルinカワサキ 8日(日) **入場無料**
さまざまな国の音楽やダンス、文化、物産、料理が体験できるフェスティバル。
- 2027年 2月頃**
 - 外国につながる子どもと保護者のためのプレスクール/外国につながる子どもの小学校入学説明会 **無料**
小学校の仕組みや入学のための準備についての説明会。交流センターや区役所、市民館等で開催。
- 毎月 第3日曜**
 - 外国人のための「行政書士による 無料相談会」 14:00~16:00 **無料**
行政書士に相談ができます。
通訳は予約してお金を払います。

※詳細は川崎市国際交流協会・センターのホームページをご覧ください。

賛助会員(KIANサポーター)募集! 新年度会員の期間 2026年4月1日~2027年3月31日

賛助会員は、川崎市国際交流協会の事業にご賛同いただける個人・団体が加入していただけます。賛助会員には、主催イベント・講座のご案内、一部イベントや講座への優先受付等の特典があります。皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

※詳しくは以下にお問合せください。
(公財)川崎市国際交流協会
TEL:044-435-7000
E-mail:soumu2525@kian.or.jp



賛助会費 ●学生会員 1口 1,000円/年 ●個人会員 1口 3,000円/年 ●団体会員 1口 10,000円/年

ひとみ慶寄席

笑う門には福来る。お蔭様で、第70回を迎えます。
出演:入船亭扇遊師匠ほか
2026年5月23日(土)
国際交流センターホールにて開催です。

行政書士かさまゆみ事務所

Gyoseishoshi Kasama Yumiko Office (Immigration lawyer)
在留資格・ビザ・永住・帰化などのご相談はこちらへ
Consultation on Status of residence, VISA, PR, Japanese nationality etc.
TEL: 044-920-9521 E-mail: office@kasamayumiko-office.jp
HP: http://www.kasamayumiko-office.jp/
川崎市中原区新丸子東1-830-12 新原ビル2階(新丸子駅から徒歩1分)
自分で申請したら不許可になってしまったケースなど、難しい案件も、あきらめず、ぜひご相談ください。

編集後記

川崎市国際交流センターの機関誌は、1990年3月から二色刷りの「KIAN」(川崎市国際交流センターの愛称)として始まり、2009年7月の105号からはカラーの「SIGNAL」(信号、合図)としてこの春号の172号まで、年4回、季節ごとに発行してまいりました。これまで国際理解や多文化共生社会の推進を目指して、海外の生活や文化の情報、市民レベルでの国際交流活動等を発信してきましたが、さらなる多文化共生社会の推進を目指し、情報提供の形も外国人市民へより伝わりやすいデジタル化したもの(SNS)に生まれ変わります。今号で機関誌「SIGNAL」は終了いたしますが、川崎市国際交流センターはこれからもさまざまな形で情報発信を続けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(川崎市国際交流協会 加藤 恵美)

企画・校正にたずさわった編集ボランティア(五十音順)
相澤弥生、安藤節子、内田美加、岡崎章、川口俊樹、川野辺幸夫、正一努、高橋一彦、高橋優子、芳賀扶美世、松波陽介、水野裕子、安田芳郎、湯澤英子、李正君

発行
川崎市国際交流センター
〒211-0033
川崎市中原区木月祇園町2番2号
TEL 044-435-7000
FAX 044-435-7010
E-mail: kiankawasaki@kian.or.jp
https://www.kian.or.jp/kic/

SIGNAL

2026 SPRING 春号

シグナル No.172
2026年3月15日発行
[年4回発行]

第31回「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」を開催!



日本語スピーチコンテスト

主催: 川崎市国際交流センター 協賛: 川崎ライオンズクラブ、川崎中ロータリークラブ
協力: 国際ソロブチミスト川崎、東京衣裳きの学院

2月7日に「外国人による日本語スピーチコンテスト」をおこないました。

出場者は川崎で生活しているインド、英国・タイ、カンボジア、スリランカ、中国、ネパール、ベトナム、ミャンマー、ラオス、ロシア出身の16名です。日本に来ての驚きや発見などをスピーチしました。来場者からは「懸命に生きている姿に感動した」など、熱いコメントが多くありました。審査の間には、ボリビアゆかりの「グループ・パトゥフ」が華やかな民族舞踊を披露し、「ロス・カルルナス」がフォルクローレを民族楽器で演奏し、歌いました。



グループ・パトゥフ
ボリビアの民族舞踊をひろめる目的で2017年に結成。パトゥフは、ボリビアサンタクルーズ州を代表する花の名前。

ロス・カルルナス
学生時代のサークルの歌好きな5人で結成して37年目になる。グループ名は、ケチュア語(インカの言葉)で「外の」「人」という意味の造語。

CONTENTS [目次]

これからの川崎市国際交流センターとその取り組み...2
特集 第31回外国人市民による日本語スピーチコンテスト..... 3,4,5
この街・この国 一度は行ってみたい! フランス共和国 コンフラン=サント・ノリーヌ市 中島幸二さん.....6
多文化共生の取り組みにフォーカス! 外国につながる子どものためのプレスクール「外国につながる子どもの寺子屋」ボランティア養成講座.....6
タイ語による国際理解講座.....7
図書・資料室から本のご紹介.....7
民間団体紹介 En Globe.....7
イベント・講座案内.....8
賛助会員(KIANサポーター)募集!.....8

(写真撮影:編集ボランティア 松波 陽介 文:川崎市国際交流協会 加藤 恵美)

これからの川崎市国際交流センターとその取り組み

川崎市の在住外国人人口は、2025年9月末に6万人を超えました。出身の国・地域は、約150か国・地域にわたっています。2027年4月からは育成就労制度が始まり、今後も、外国人人口が増えるとともに、長く日本に暮らす方が増えていくことが想定されています。

「多文化共生社会」の実現とともに、一人ひとりの国際理解がますます大切になっています。日本人と外国人が地域の中で共に安心して暮らし、自分らしく活躍できる社会になることを目指して、川崎市国際交流センターでは以下の取り組みを進めています。

多文化共生社会を推進する外国人市民に向けての取り組み

◎窓口相談

多言語で相談ができます。センターの窓口、電話、メール、オンラインでも可能です。予約はいりません。相談料も無料です。
※オンラインのみ要予約。

いろいろな手続きから生活の困り事まで、何でも相談することができます。

◎生活オリエンテーション・出張相談

川崎市で生活を始める外国人に、情報を提供し、相談を受け付けます。国際交流センターの日本語講座や各区市民館の日本語教室など、外国人が多く集まる場所で実施します。当協会のFacebook、「ハローかわさき」でご確認下さい。

◎日本語を学べる場

日本語講座: ゼロから上級レベルまで、グループで学べます。
火・金曜日の午前クラス*と水曜日の夜クラスがあります。
※1歳以上の子どもの保育あり。



生活にほんごサロン

日本語講座

生活にほんごサロン: ボランティアが1対1で日常生活に必要な日本語をサポートします。週末のみの活動を平日(火・金曜日の午前除く)にも拡げていきます。

外国につながる子どもの寺子屋: 外国につながる小学生の居場所を目指し、日本語学習のサポートもします。

◎外国につながる子どもと保護者のためのプレスクール(小学校入学説明会)、高校進学ガイダンス、「市営住宅申込書」書き方説明会など

外国につながる子どもや家族に必要な情報提供もおこなっていきます。

お知らせ ~『SIGNAL』終了と今後の情報発信について~

川崎市国際交流センターの機関誌として、国際理解並びに多文化共生社会の推進を目指して、さまざまな国・地域、その暮らしや文化、そして市民レベルの国際交流活動等の情報を提供してきた「かわさき国際交流センターニュース『SIGNAL』」は本号をもちまして終了いたします。これまでのご愛読、誠にありがとうございました。

今後は外国人市民に伝わりやすい情報提供を目指し、情報発信のデジタル化を推進するため、ホームページやSNSで、イベントや多文化共生への取り組みを発信してまいります。引き続き応援してまいりますよう、お願い申し上げます。



川崎市国際交流協会のホームページ



川崎市国際交流協会のFacebook



川崎市国際交流協会ブログ「センター歳時記」



12言語での川崎市内のニュース「ハローかわさき」



川崎市国際交流センターだより



図書・資料室だより

図書・資料室から本のご紹介



『それはわたしが外国人だから?』

安田菜津紀著、金井真紀文・絵(ヘウレーカ 2024.4)



多様性と聞いてどんなことを思い浮かべますか。この社会はすでに多様です。でも、社会は多様性が守られていますか。一人ひとりが大切にされていますか。この本は子どもにも伝わるよう平易なことばで、まとめられています(漢字はすべてルビ付きです)。あちらこちらで「多様性の尊重」がいわれているのに、「そこから排除される人たちがいるのはなぜだろう」「共に生きるってなんだだろう」そんな対話のきっかけになることを願って書かれた本です。

『お話の種をまいて フェルトリコ出身の司書プーラ・ベルプレ』

アニカ・アルダムイ・デニス作、パオラ・エスコバル絵、星野由美訳(汐文社 2019)

1921年、プーラはアブエラ(おばあちゃん)が語ってくれたお話を胸に、フェルトリコからニューヨークにやってきました。図書館の司書として働くことになったのですが、本棚には故郷の民話など一冊もないのを見て、プーラが始めたことは?実際に、ニューヨークで司書、作家、人形遣い、民話の語り手として活躍し、「プーラ・ベルプレ賞」(注)としてその名が残ることになった女性の伝記絵本です。



(注)ラテンアメリカの文化を描いた優れた児童書・ヤングアダルト作品の作家、画家に贈られる賞。

多文化共生の取り組みにフォーカス!

タイ語による国際理解講座

2月14日に、仲田シリワン講師(タイ出身、当協会の国際理解教育支援ボランティア)からタイの言葉と文化と料理を学ぶ講座を開催しました。23名の参加者はタイ語の挨拶や母音の文字を学んでゲームを楽しんだ後、タイ料理を作って味わいました。



タイ料理を作っている参加者



仲田シリワン講師

以下のレシピでもみなさんもタイのデザート体験してみてください。

コーン入りココナッツミルクタピオカ

●材料【10人分】

- タピオカ……………100g
- スイートコーンの缶詰(粒)……………1個
- ココナッツミルク……………100cc
- 砂糖……………100g
- 水……………600cc
- 塩……………小さじ1/8程度



●作り方

- ①鍋で分量の湯を沸かし、乾燥タピオカを入れて15分ほどかき混ぜる。(茹でる時間はそれぞれの説明書きに従う)
- ②①の鍋に砂糖とスイートコーンを入れて、数分間かき混ぜる。
- ③別の鍋にココナッツミルクと塩(親指と人差し指で軽くつまんだくらい)を入れ、軽く沸騰させる。
- ④②のタピオカを深皿に盛り、③のココナッツミルクを注ぐと出来上がり。

(レシピ提供:仲田 シリワン 文・写真:川崎市国際交流協会 加藤 恵美)

川崎で頑張っている民間団体紹介 65



交流会

En Globe 国ではなく、人としてつながる

En Globe(エングローブ)は、国籍や言語の違いを越えて「国ではなく、人としてつながる」ことを目的とする国際共創コミュニティです。川崎市を拠点に、日本人・外国人が自然に混ざり合い、出会いとリアルな体験と一緒につくる場を運営しています。私たちが大切にしているのは、イベントを通して共に笑い、協力しながら、相手を一人の人として理解していくことです。

En Globeの立ち上げは、代表 高部の「子供たちにリアルな国際体験を提供してグローバルな人材育成につなげたい」、また、共同代表 ベレーラの「日本のみんなが海外の文化を知る機会を増やしたい」「地域住民と在日外国人が交流できる場をつくりたい」「外国人も日本の文化・日本社会になじむ機会をつくりたい」という想いを目標として、フェスティバルを開催するのが始まりです。

このフェスティバルには3,000人超の来場があり、年齢や国籍を超えて、日本にいなながら「リアルな海外体験」ができたことも大きな魅力となりました。そして、川崎市国際交流センターの「インターナショナル・フェスティバルinかわさき」への出展(世界の公園)、川崎フロンターレとの共同企画「外国人総合案内所」など、これまで子どもから大人まで楽しめる参加型コンテンツを展開してきました。会場では、初対面同士でも「一緒にやってみよう!」が生まれ、「その人らしさ」を起点に会話が広がっていきます。多くの日本人・外国人ボランティアの皆さんにも支えられ、運営そのものが多文化の学び合いの場になっています。

第二回「国際スポーツ&カルチャーフェスティバル」は5月16日に「生田緑地中央広場」で開催します。ボランティアへのご参加、ご協力・応援もお待ちしております。



川崎フロンターレとの共同企画「外国人総合案内所」



En Globe

代表:高部 真生
ベレーラ・ラヒル・サンケータ
連絡先:contact@englobe.jp

